

『SDGs(持続可能な開発目標)』について

「SDGs(持続可能な開発目標)」とは

持続可能な開発目標 (SDGs (エス・ディー・ジーズ)) とは、2015年9月の国連サミットで採択された持続可能でよりよい世界を実現するための国際目標です。

17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

目標を達成するためには、私たち一人ひとりが身の回りの社会問題や環境問題などの様々な課題を「自分ごと」として捉え、積極的に行動することが大切です。



議論のポイント

県では、地方創生の推進そのものがSDGsの達成に向けたプロセスであるとの考えのもと、国に先駆け策定した第2期となる「清流の国ぎふ」創生総合戦略に、SDGsを推進する旨を明記し、その達成に向けて各種施策に取り組んでいます。

(施策事例)

- ◇ 「清流長良川の鮎」の更なる深化とSDGsの全面展開
 - ◇ 「ぎふ食べきり運動」の推進
 - ◇ 清流の国ぎふSDGs推進ネットワークの設置 → SDGs推進に関する普及啓発
- 第6次計画では、SDGsの考え方を以下のとおり活用したいと考えております。

○計画の基本理念に組み込み、計画全体に通底する概念として活用

○施策の柱ごとに、関連するSDGsのアイコンを明示